

「最近よく聞く「界限」って何？」(土手)

最近、SNS やテレビで「〇〇界限」という言葉を耳にすることがあります。「界限(かいわい)」は本来、「この辺り」や「周辺」という意味ですが、今では同じ趣味や興味を持つ人たち、その世界を表す言葉として使われています。例えば、「ラーメン界限」はラーメン好き、「自然界限」は自然を楽しむ人たち、「ドローン界限」はドローンを楽しむ人たち、といった具合です。私もたまに遊んでいるドローンですが、気付けば「ドローン界限」の仲間入りをしていました。最近では「早寝早起き界限」「二度寝界限」のように、趣味だけでなく生活スタイルを表す言葉としても使われています。最初は「何それ？」と思っていましたが、意味を知ると何とも便利な言葉です。人によって捉え方が変わるのもおもしろい所かもしれません。とはいえ、この言葉を当たり前のように使う娘に「ちゃんとした日本語を使いなさい！」と注意するべきか、それとも時代の流れとして受け入れるべきか…。今まさに悩んでいる界限です。



知っとこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識:【消費税が非課税となる取り引きについて】

消費税は、商品の販売やサービスの提供など、国内で行われる多くの取り引きに広く課税される税金で、現在は標準税率 10% (軽減税率 8%) が適用されています。しかし、その性質や社会政策上の配慮から、例外的に消費



税がかからない「非課税取り引き」が定められています。代表的なものは「土地の譲渡や貸し付け」です。土地は建物と異なり、使用しても減ることがないため消費という概念にそぐわないことから、課税対象外とされています。同様の理由で、利子、保険料、有価証券や印紙などの譲渡、住民票の交付などの行政手数料も非課税です。

また国民生活に密接に関わる分野への配慮として、社会保険医療、介護保険サービス、一定の要件を満たす学校の授業料、住宅の貸し付け(家賃)なども非課税とされています。このように消費税は多くの取り引きに課税される一方で、その趣旨や政策目的に応じた例外もあるのです。これらは実務上の仕入税額控除の計算にも関わる重要な項目です。判断に迷う際はご相談ください。

世界の偉人伝

今月の偉人:【ドラッカー】

ピーター・ドラッカーは「マネジメントの父」と呼ばれる 20 世紀の経営学者です。オーストリアのウィーンで裕福なユダヤ人家庭に生まれ、高い文化環境で育ちました。フランクフルト大学で国際法の博士号を取得、ロンドン生活を経てアメリカに渡り、幅広い知的探求に没頭しました。組織経営を体系化した「マネジメント」では自らを「社会生態学者」と称し、人間が組織や社会で成果を生む仕組みを論じています。激動のこの時代、個々の「強みだけを見る」姿勢の重要性が響きます。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード:【reach】

7 月から携帯電話の番号に「060」が使えるようになります。「携帯電話」は英米でいい方が違い、英では“mobile”、米では“cellphone”です。しかし今は普及しすぎて、単に“phone”という場合も多いようです。「いつでも電話して」は“You can call me anytime.”ですが、“reach”を使いたい方もできます。“Here is my number. You can reach me anytime.”では「これが私の電話番号よ。いつでも連絡して」です。「到着する・届く」と習った“reach”にはこんな使い方もあるんですね。



今月のトピック：【純喫茶】

赤いベルベットのソファに、磨き込まれた飴色の木製家具、アンティークの照明。昭和レトロの喫茶店やスナックに若者が足を運んでいます。中でも純喫茶は、重厚な雰囲気クリームソーダやナポリタンなどの定番メニューが「映える」と人気です。長く愛されてきた時の流れが、コスパタイパで効率に追われるデジタル世代に響くようです。



オノの言葉

生きとったらええ

日本を代表する心理学者である河合隼雄の言葉。思い悩むことはある。そんなとき「生きとったらええ」と思うと肩の力が抜けて目の前の風景が違って見えてくる。

玉ねぎを切る前に冷凍庫で 10 分ほど冷やすと、涙の原因になる成分が空气中に広がりにくくなり、目への刺激を抑えられます。凍らせる必要はなく、軽く冷やすだけで十分。水にさらすより風味や旨味が逃げにくく、シャキッとした食感も保ちやすいのが利点です。

知恵代表

振り向けば

あそこにも
ここにも

「商売のヒント」



今月の商売のヒント：【数年後の会社の景色を変える】

毎日忙しいのに会社が前進している感じがしない。このように感じる経営者は少なくないようです。朝からメールなどを返し、見積もり



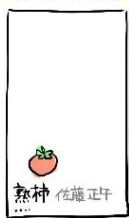
を確認し、打ち合わせをし、取引先の急な依頼に対応して、気がつけばあっという間に 1 日が終わっている。やるべきことは片づいているけれど、会社の未来にとって本当に大切なことには手がつけられない状態です。仕事には「急ぎの仕事」と「大事な仕事」があります。急ぎの仕事

は放っておくとすぐに表面化します。電話が鳴る。納期が迫る。確認を求められる。対応しなければ誰かが困り、現場が止まる。だから私たちは、どうしてもそちらを優先しがちです。一方で採用、育成、仕組みづくり、商品やサービスの見直しなどは今日やらなくてもすぐに困りません。だから後回しにしがちですが、それこそが商売の質を決める大事な仕事です。おろそかにすれば会社は少しずつ「らしさ」を失い、目先の対応に終始する商売になってしまうでしょう。その結果、ある日、本質的な課題に向き合う羽目になります。人が育っていない。現場が回らない。価格を上げられない。顧客が離れる。そのときになって慌てても根の深い問題はすぐに解決しません。忙しさは努力している証拠のように見えますが、忙しいだけでは会社は強くなりません。むしろ忙しさに慣れてしまうと、立ち止まって考える力が少しずつ削られていきます。大切なのは、急ぎの仕事をしながらも商売の質を磨く時間を失わないこと。1 日 30 分でも会社の未来を考える時間を作ってみてください。その習慣が、数年後の会社の景色を変えていくでしょう。



【熟柿】

数々の賞を受賞している佐藤正午の最新作。ひき逃げの罪で服役中に出生した女性の 17 年間におよぶ再生物語。「熟柿」というタイトルが胸に刺さる一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております ☺☺☺☺☺☺